

~自分のまちが"好きになる"~

御畳瀬でロケハン!

みませ



■はじめに

本書は、地域おこし学校「こうちみませ楽舎」令和4年度の教室「～自分のまちが好きになる～御畳瀬でロケハン！」の記録と受講生の作品集です。

ロケハン（ロケーションハンティングの略語）とは、映画やアニメーションなどを作る時に、ストーリーにふさわしい場所やシーンの参考になる場所を見つける事です。

用途に合った魅力的な場所を見つけるという点で、地域の魅力を見つけるにはうってつけではないかと思い、今回、ロケハンの名前を借りて、御畳瀬取材してもらいました。

この講座で重要な事は、自分自身が何に感動し、それをどう考えるのかを深めてもらう事です。

何気なく出会う日常の風景の中には、感動を覚える物が意外に潜んでいるものです。それを拾い集めて整理し言葉にする事で、自身の「好き」を補強してもらいます。

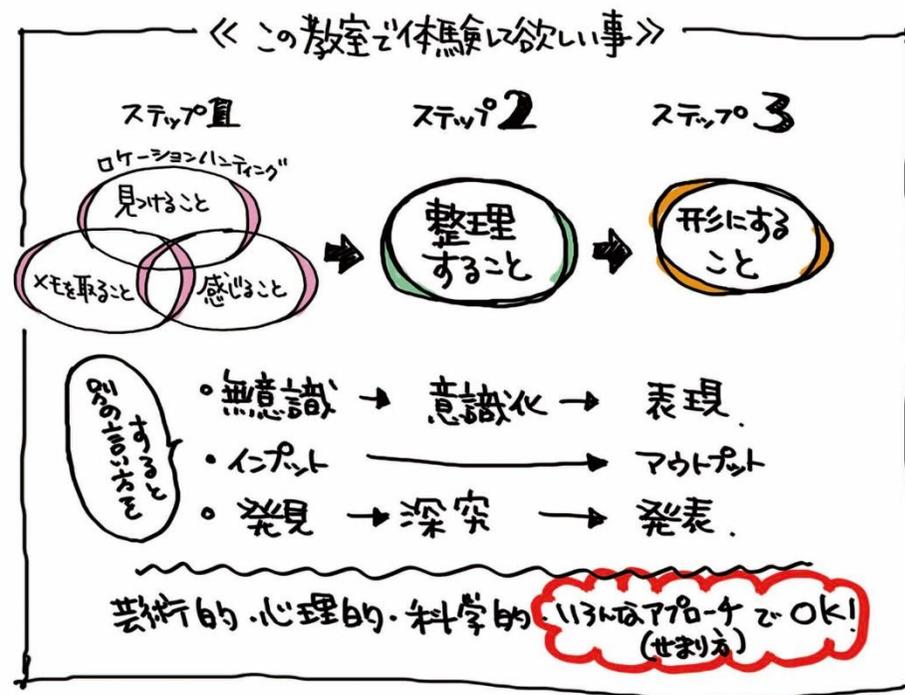
そして、写真と言葉を使って、観た人にどうすれば伝わるかを工夫することに挑戦してもらいました。

サブタイトルを「自分のまちが好きになる」としたのは、この体験で、いつも暮らしている日常風景の中にも沢山の魅力を発見して欲しいと思うからです。

本書をご覧くださった方は、受講生のみなさんが発見した御畳瀬を、是非、楽しんで下さい。

そして地域とは何かを考えるきっかけになって下されば幸いです。

～自分のまちが好きになる～ 御畳瀬でロケハン!



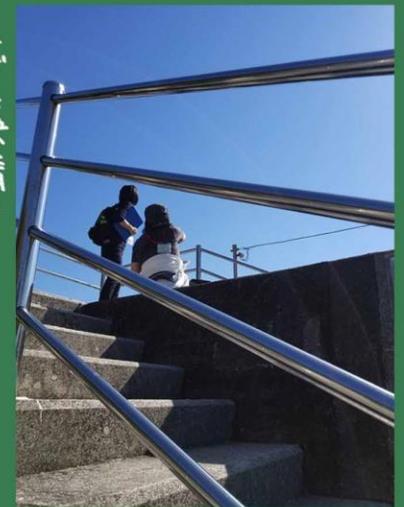
授業風景

ロケハン1回目 10月15日

ロケハンへGO!!

思い思いに撮影ポイントを探ります。

みこに決晴!!



時にはひとりごと...

オンライン参加の吉富先生はココ



干魚のやまさまの話を聞く

里長 菅校長

みませの根性スイカ

教室での作業



みはさん熱心に作業しています。



今日のまとめ。

ロケハン2回目 10月29日

1回目ロケハンの作品を貼り出して皆で見ていきます。



それぞれの作品を
発表！
皆さん感想や
考への意見交換。



2回目のロケハンへGO

国光トンネルをぬけて
御国屋へ



人がたれくらい、トロ箱の高さがわかりますね



豆頭カリーの取材



豆頭カリー...おまかせに任せておきます。

今日も快晴!

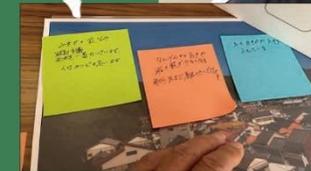


教室での作業

写真を見せて説明の様子。



コメントを
種差頁別
色分け。



1回目をふまえて作品をアップ! 完成へ。

御畳瀬 ロケハンマップ

③御畳瀬小学校の門に魚がいる！



※●は最景地点です。

作品の見方

撮影地点
ナンバー

作品タイトル
※ページのマップに
対応しています。

みどり色のタグ
見つけたこと

写真を撮った時に
感じた事や
考えたことの
まとめ。

② 路地裏の異空間

撮影日：2022年10月15日
撮影者：西川朋華

この教室に参加したきっかけは、御臺瀬での活動を知り面白そう
だなと思ったことだった。

ロケハンってどんなのだろう？目で見る景色と写真を通して見え
る景色にはどんな違いがあるだろう？と、毎回わくわくしながら
参加し、「御臺瀬ってやっぱりいいな」と思いながら帰るのが
一つの楽しみになっていた。

2回のロケハンで、「人が少なくなった寂しい町」という印象
だった御臺瀬が、「人の日常を感じられる不思議な町」と、がらりと
印象が変わった。

高齢化で人が減ってきてはいるけれど、「日常」は風景の中に
溶け込んでいる。御臺瀬を歩いて、見聞きして、目で見ただから
こそ感じられたことだと思う。

でも、そんな風景を一番感じられたのは、ロケハンを通じて風景を
「写真」に収めたからこそなんだと、自分の作品を見返して思う。

私の知らなかった、地元の方も知らなかった御臺瀬の魅力。
町が私たちに目をかせてくれたのかなと感じている。

撮影地点番号
矢印は撮った方向



空が
とにかく
青い!!

カラッと晴れた日に干された
曬しモノ

普段は目にする
ことのない風景

村まの「小さな日常」

誰と乗るための自転車?

湯気で濡れた髪を
暖かい風が乾かす

私の身長より高い壁

人の営みを感じているのか?

おまじな人の
「日常」に溶け込みたい



緑と黄色が入り混じる。
ふわふわと香る甘い匂いの
金木犀

どこか100年前かという電線
今も明かりを届け続けている...

路地裏だけ...
影が少なく!!

現代を感じる代物
2022.10.15
西川 朋華

路地裏の
異空間
木(大運)の面

車が通れない路地

この先には何かあるのだろうか...?
行き止まり? 抜け道??
たかま。さぐ。続く道??
ハッ！人の金木犀を
ちりちりと見える!!

いろんな想像が膨らむ。

不思議

路地裏に出会った瞬間!!

とこざとくにある建物か
壁の流れを感じさせる

人の行き来が向かい寄り
会話を止まさない路地

西法寺への道道か!!

ロケハンを終えての
感想など

撮影地点の
寄り地図

オレンジ色のタグ
感じたこと

青色のタグ
考えたこと

※このフォーマットとありではないページもあります。

① みませのいえなみ

撮影日：2022年10月29日

撮影者：山下政洋

西法寺の津波避難道より撮影した風景。

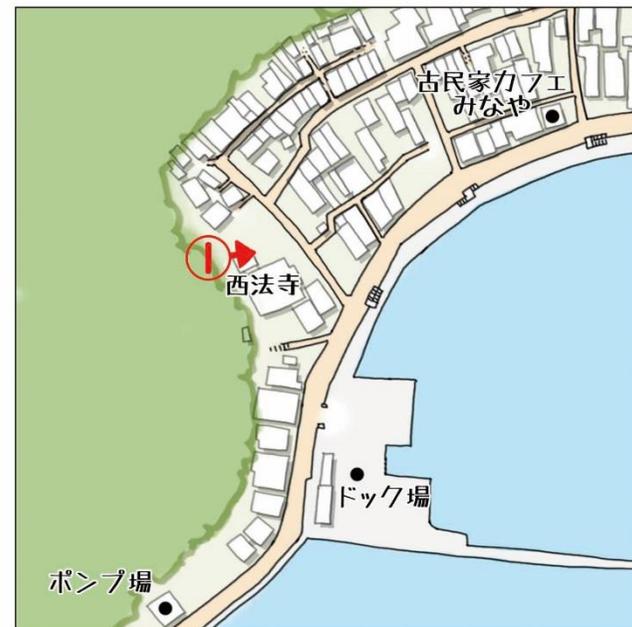
七十余年の変化に、寂しさも感じた。

昨年、花壇の手入れを始めてみると、地域の連中も手伝ってくれる。

まだ盛り上げることができると思う。

これ、御畳瀬愛なり。

<撮影地点>



みませのいえなみ

昭和初期 いらぱんちりさな村
人口みづせの高い村



南から北まで屋根
つたいで行ける

みませ

年々あすなろあすな
ふえている

りんげんかあすな
の数が少なくなっている

令和4年10月29日(土)

山下政洋

② 路地裏の異空間

撮影日：2022年10月15日

撮影者：西川朋華

この教室に参加したきっかけは、御畳瀬での活動を知り面白そうだなと思ったことだった。

ロケハンってどんなのだろう？目で見る景色と写真を通して見える景色にはどんな違いがあるだろう？と、毎回わくわくしながら参加し、「御畳瀬ってやっぱりいいな」と思いながら帰るのが一つの楽しみになっていた。

2回のロケハンで、「人が少なくなった寂しい町」という印象だった御畳瀬が、「人の日常を感じられる不思議な町」と、がらりと印象が変わった。

高齢化で人が減ってきてはいるけれど、“日常”は風景の中に溶け込んでいる。御畳瀬を歩いて、見聞きして、目で見たからこそ感じられたことだと思う。

でも、そんな風景を一番感じられたのは、ロケハンを通じて風景を「写真」に収めたからこそなんだなと、自分の作品を見返して思う。

私の知らなかった、地元の方も知らなかった御畳瀬の魅力。

町が私たちに顔を覗かせてくれたのかなと感じている。

<撮影地点>



空が
とにかく
青い!!

緑と黄色が入り混じる。
「ふわっ」と香る甘い匂いの
金木犀

「どこか」につながっている電線
今も明かりを届け続けている...

路地ではないけれど...
影が少ない!!

現代を感じる代物

2022.10.15
西川 朋華

路地裏
の
異空間

木(木造)が多い!

カラッと晴れた日に干された
洗濯物

普段は目にする
ことのない風景

みませの“小さな日常”

誰を乗せるための自転車?

漁港で揚がった魚を
運んでくる漁師さん♪

私の身長より高い塀

人の営みが隠れているかも?

みませの人々の
“日常”に溶け込んだ感じ



。車が通れない路地。

この先には何かあるのだろうか...?

行き止まり? 抜け道?

たまたますぐ続く道??

Mさん家の金木犀も

ちらりと見える (…!)

いろいろな想像が膨らむ。

不思議

な路地に出会っちゃいました!!

とろとろにある植物が
時の流れを感じさせる

人の行き来が多くあり
会話の止まない路地

西法寺への近道か!?

③ 御豊瀬小学校の門に魚がいる！

撮影日：2022年10月29日

撮影者：秦泉寺美千代

【ロケハンを終えて…】

私は海が好き！

町から海を見ることが癒しになります。

町をゆっくり見てまわるロケハンを2回やってみて気づいたこと。

昔ながらの家並みがひっそり続く中から、時々声が聞こえてくる。

「こんなに沢山の人は久しぶり」と声をかけてきたご婦人も、

シャッター前に居座るネコも、

季節に関係なく咲き乱れる木々の花も、

誰もいなくなった小学校の門の魚も、

町のあちこちから息吹が感じられる。

まだまだ元気だ！と。

海以外何もないって思ってた自分が恥ずかしい。

ロケハンを通じて、いつもは意識してなかった陸地の様々な発見を

することで、大好きな御豊瀬の海が、もっと好きになりました。

御豊瀬の町から見る海が、

いつも以上にキラキラ輝いている気がします。

<撮影地点>



御豊瀬小学校の門に魚がいる！

壊れて
ちびとボロボロだねあ ？？



門を閉じると
魚の形になるんです

なんと！
影も魚になっている！

ちゃんと目がある！

この門を歩いたら
町が明るくなるぞ

このままノスタルジックなのも
いいなあ...

いろいろな学校を
見てきたけれど、
こんな門は初めて
珍しい！

御豊瀬といえば
漁業の町、
そして魚！
その山を象徴していて
魚への愛を感じる♡

つりざおも持った
少年達が
目を輝かせ
今にも出てきそう

撮影：2022.10.29

秦泉寺美千代

④ シェア路地

撮影日：2022年10月15日

撮影者：中山慧晴

みんなで御畳瀬に住みましょう

余生の生活を楽しく過す。

町内を細かく見聞きし、余生の生活を楽しく過す発見が多数あり、
終活の生活に自信を持ちました。

又、「こうちみませ楽舎」に参加させていただき、
学びの場を作っていただき、生涯勉強に再度挑戦。

家内が退院したら「御畳瀬でよかったね」と暮らしましょう。

写真から、生活空間の違い様々、
～宇宙～御畳瀬～ウクライナ等々～
生活感を感じました。

人間は何処で生活しても、人と人との寄り添いで営みが成り立つ。

ロケハンを通じて未知の御畳瀬との遭遇を果たし、
都会と田舎のギャップを感じるなかで、
平和への思いを新たにすることができました。

<撮影地点>





シェア路地

* 対面生活を感じる

{井戸端会議}

* 日本一人口密度の高さを感じる。

「路地」

* 路地の幅1、5 mに、通路&側溝が共有している

* 昔話に、屋根伝いに、村内を一周したとか・??

けいきさん

R4 : 10 : 15

⑤ 北岡米穀店跡にて

撮影日：2022年10月2日

撮影者：黒瀬明文

この北岡米穀店は、「お庄屋のおばちゃん」と呼ばれ、お米だけでなくジュースやお菓子も売っていた、子供たちも楽しめる場所でした。今はそのおばちゃんも亡くなり、長らくシャッターも閉じられたままになっています。この写真を撮った時、猫がシャッターが開くのをずっと待っているような気がしました。いつかこの店をはじめ、シャッターが閉じられた店が再び開くのを願ってやみません。

この「こうちみませ楽舎」に参加して、御畳瀬でのまち歩きを通して、昔住んでいた頃の記憶がますます思い起こされました。

<撮影地点>



お米だけでなく
ジュースやアイス、お菓子
も売っていたのだ。
子供にも人気の店だった
(トマンのミルクセーキが
ラムネもあった)

子供はおい屋の
おばちゃん、母は
おい屋の姉さんと
呑んでいた。
御置瀬の町は7の
家族だった。

北岡米穀店跡にて

2022年10月2日

黒瀬貞明文



←
子供の頃よく
住んでいました。
現在は空き地です。

「おばちゃんが帰る
までよくお守りだ！
とシャワーが「開く」と
猫は待っている。

写真には写してい
ないが、このおん
八百屋があった
今は空き屋

⑥ 御豊瀬宇宙港

撮影日：2022年9月13日

撮影者：吉富慎作

鄙びた港町。それが初めて訪れたときの印象。

ひな

通うたび、その印象はアップデートされていく。

2022年の秋のロケハン（ロケーションハンティング）。

このロケハン、最初鄙びて見えた御豊瀬が、もしかしたら最も未来に近いかもしれないという

「可能性」を僕に与えてくれた。そして脳裏に焼きついて、ふとしたときに「みなや」の2階から見る防波堤越しの海や、あの横幅が見事に圧縮された家を思い出す。

そう。まんまと、脳をハントされてしまっている。

<撮影地点>



• 縦横比が!!

かつて栄華を極めたや
家が ひろび合っていた
時代の面影。

• もしがしてこれは

これは ひょっとすると
ローレンツ収縮なのでは!?

• ローレンツ収縮

$$l = l_0 \sqrt{1 - v^2/c^2}$$

運動する物体の長さが
静止系での固有長さ
短かく測定される現象

• 惑星間通信アンテナ

← どうやら 2種類の周波数に
対応しているらしい。

御豊瀬宇宙港!

2022. 9. 13.

@ 御豊瀬漁港
by コタニシンカク

みでのとまりである。縦横比が つかい。

= 水はつり、僕にとり、御豊瀬の地域が
光の速度で 集散する未来に向けて 進んでいることで
「ローレンツ収縮」を 起しているように 見える!!

という事は 水は 宇宙船 だ!!

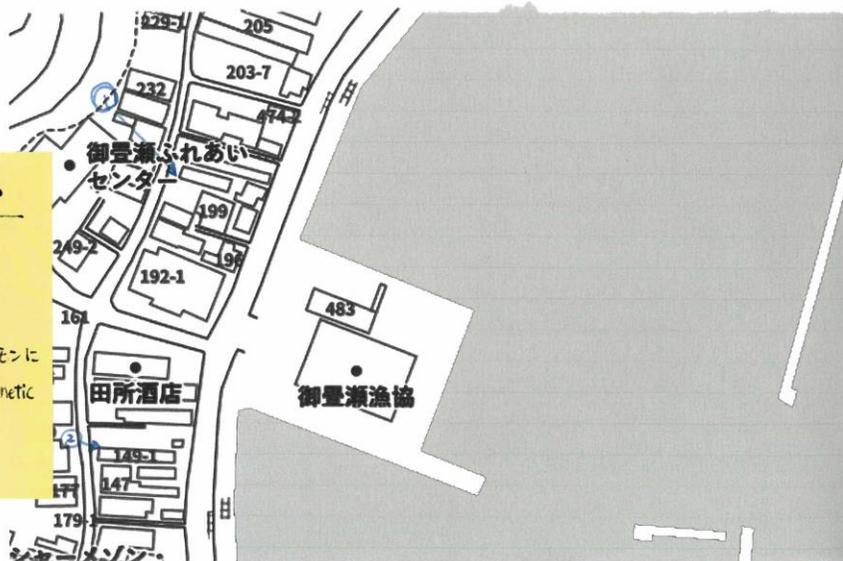
という事は、御豊瀬は、宇宙船が集まる「宇宙港」
だのだ!!

未来へ、7-7° 近し。

• イオン推進エンジン

← 非常に 薄型の
イオン推進エンジンと

みえる。あるいは、2次元に
出ているAMS (Anti Magnetic
System) か!?



⑦ りぐったタイル

撮影日：2022年7月20日

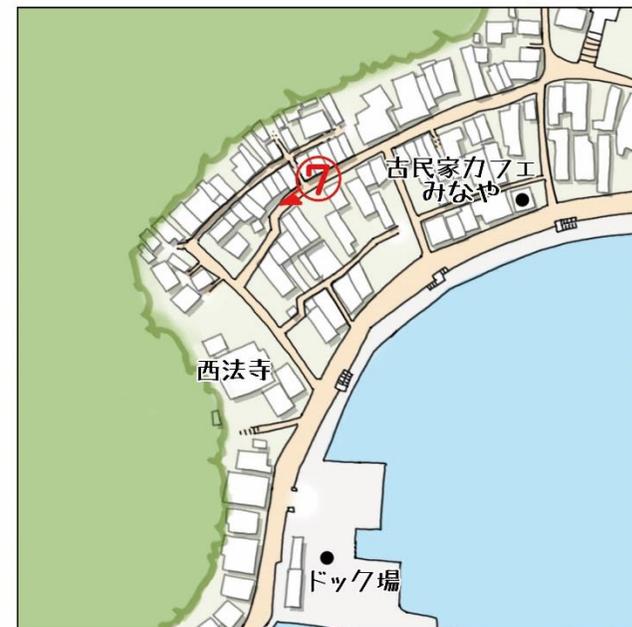
撮影者：緒川マミオ

仕事柄、ロケハンや街歩きで写真を撮ったり、見直したりしている。どうい素材でどんな構造か、興味を惹かれることは書き留めたり、調べたりするけれど、今回、このロケハンの方法をやってみて、何を感じたかを文章にするのは、結構難しい事だと感じた。

「気持ち」はどんどん変化していくし、気まぐれなので、注意深く捕まえておかないと逃げてしまう。

私が古い建物が好きなのは、捕まえがたい心の機微が積み重なっているからなのかも、と思う。

<撮影地点>



・土留等も瓦・漆物利用
・経年劣化のまだら模様は奇跡!

銅製の
雨どい

様々な木の四角のハーモニー

ドアの壁

りくたタイル

撮影日: 2022/7/20

撮影: 緒川マシオ

※りくた...酒落たことを云う(土佐弁?)

長らく家主を失く、色んな所が
石破れているけれど、この家は、今でも
洒落た建物だ。

このタイルについて、窯業を営んでいる
友人に聞いたところ、常に骨ざり壊れ
たものだと言った。

帝国ホテルを設計したライトの
デザインを元には、意匠で、矢印の形が
違うからわかると云う。

最盛期は、全国津々浦々運ばれ
てきたとか。

運ばれたのは、陸路だったのか!

海路だったのか。

このタイルを食料を施すの心算で
集めたいと云う。

4年ほど
出自がある!!

常滑 杉江製陶所の
クリッカータイル

※クリッカータイル

↓
左用の骨ざり止め効果があるタイル。この様な使用方はめずらしいこと。

西法寺へ

この通りが昔の海岸通り!

側は拡張した区画
こた

アスファルトやコンクリート
時間が作った色味と
リズムが面白い。

絶妙な場所に
緑色の補色が

■あしがき

「いや、ヤツはとんでもないものを盗んでいきました。 ——あなたの心です。」

言わずと知れたアニメ映画「ルパン三世カリオストロの城」(1979年/東宝) 銭形警部のセリフです。

今年度のこうちみませ楽舎最大の事件はなんと言っても、御畳瀬からそれも実際に現役で人気アニメの美術設定をしている緒川マミオ先生とロケハンできるこの教室「～自分のまちが好きになる～御畳瀬でロケハン!」が爆誕したことではないでしょうか。

受講生のみなさんとロケハンをするなかで、(僕はオンラインでの参加となりましたが) 御畳瀬という港町に心奪われたのはもちろん、なにより地域の人から異口同音に語られる「まだ諦めてない、まだ盛り上げられる」というエネルギーに、僕の心はすっかり盗まれてしまいました。

複数人でロケハンしその気づきを共有することで、自分の感性とはまったく違う御畳瀬の価値が生まれました。つまり私たちの御畳瀬を見る眼差しは確実に変化しています。

ダーウィンはこう言っています。

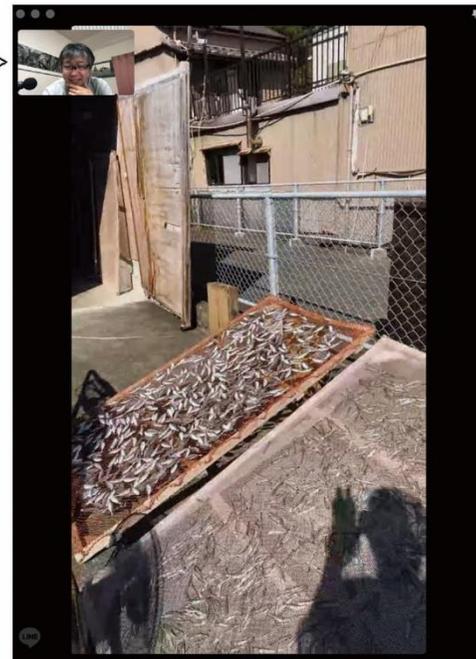
「最も強い者が生き残るのではなく、
最も賢い者が生き残るのでもない。
唯一生き残るのは、変化する者である。」

このロケハンをきっかけに、さらに変化を生み出し続ける人が増え、御畳瀬という宝が未来に生き残っていくことを願っています。

全6回。受講生のみなさん、御畳瀬のみなさん、高知市地域活性推進課のみなさん、そして緒川マミオ先生。ありがとうございました。

2022/11/28 講師：吉富慎作(土佐山アカデミー事務局長/オモシロガリスト®)

オンライン参加の
吉富はココ



■この講座を終えて

今回の講座では、みなさんにロケハンの楽しさを体験してもらい、それを形にしてもらう事に挑戦して頂きました。美術設定とは違うものが出来上がりましたが、何かを伝えたいと思った時の入口で必ず通る気付きみたいなものを体験して頂けたと思います。

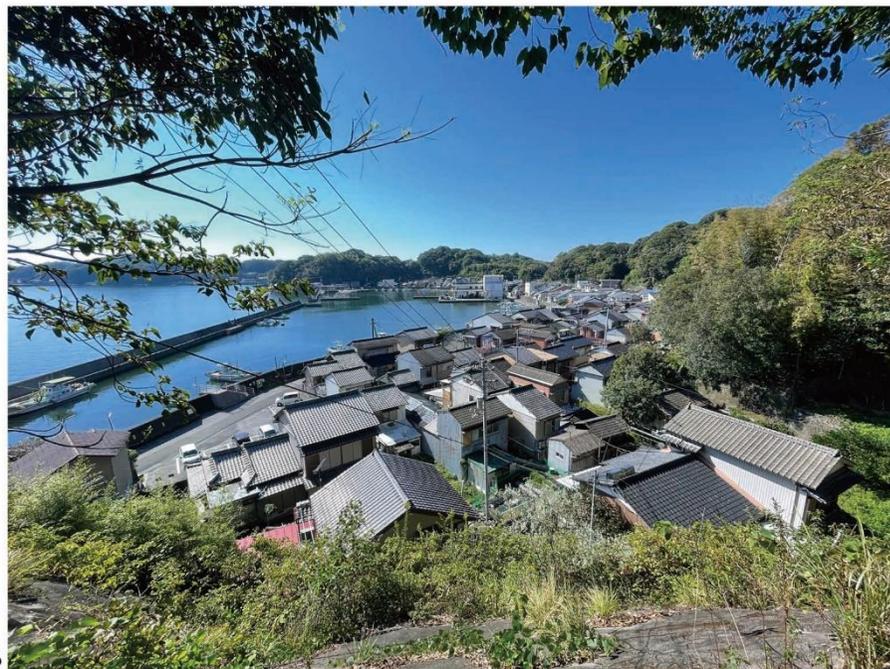
みなさんと一緒に作品を作っていく中で、あまりに長閑な風景に、翻って今起きているウクライナの戦争を思わずにはいられないという意見や、空き家や空地が増えているという地域の現実、繁栄や賑やかさが過去のものという、楽しいばかりではいられない現状などが作品の中に盛り込まれていて、みなさんが地域に寄り添う目線をしっかり持っている事に、私にとっても学ぶ事が多い講座でした。

私は、今回のロケハンの取材地「御豊瀬」でボランティアでコミュニティカフェを運営していますが、「何故、こんな事をしているのか」と何度も問われます。解決が難しい問題が起きた時、私自身「何故」こんな事をしているんだろうと思う事もあります。そんな時、私の住む御豊瀬には沢山の「好き」があって、それを失くしたくない。そういう思いが大きな支えになっていると思うのです。

受講生のみなさんは、この講座を終えても、時々、その視点で周りを見渡してみてください。あなたが見つけたものは、きっとあなたの支えになってくれることと思います。

本書をご覧頂いた方々は、この本をたよりに、是非、御豊瀬を訪れてみてください。撮影地点に立ってみて、あなたなら、何を見つけ何をイメージするでしょうか。そして、あなたのお住まいの地域でも、ひとつでも多くの「好き」を発見してみてください。

2022/11/28 講師：緒川マミオ





がくしゃ
地域おこし学校
こうちみませ 楽舎

高知市総務部 政策推進室 地域活性推進課
〒780-8571 高知市本町5丁目1番45号
TEL 088-823-8813
令和4年12月発行